

## はじめに

近年、英文を書く機会はますます増えてきています。入試のためばかりではなく、インターネットの利用や外国の人たちとの意見の交流、また学業を終えて働き始めればビジネスの上で英文を作らなければならない場面に出会います。しかし、「英文を作るのは難しい」「ワケがワカラン」「英作文の時間は嫌い！ だって、自分で英語を書いてもそれが正しいかどうかワカランモン。」 などなど、英語を苦手とする生徒さんの中でも、特に英作文を毛嫌いする生徒さんは多いようです。

昔から「英作文は英借文（えいしゃくぶん）」と言われていますが、これは英作文の力を伸ばすためのコツを示しています。皆さんの先輩たちは、英語で表現する力を少しでも向上させようと、教科書の例文、英語で書かれた小説や映画のセリフなどの中から自分でつけた好きな文を覚えるなどの努力を必死にしてきました。そこで、私たちも、まず、次のことを実行してみましょう。

\*基本となる英文のパターンを繰り返し読んで、まずは暗記すること

\*土台となる1つ1つの英文を理解するために、最低限の英文法の知識を持つこと

（ただ丸暗記するのではなく、文章の組み立てを理解できるようになると、暗記することが少しずつ苦ではなくなってきました。）

\*あとはどんどん E-mail や文通、入試問題集などにチャレンジして練習を重ねる

その練習の上ではミスも大切な財産。—— ミスをミスのままにしておくのではなく、ミスの原因・内容をよく理解し、必ず正しい文を覚えることで、それが血肉となるのです。

「英語は難しい。英作文なんてもってのほか」と考えているのであれば、その先入観をこの問題集が取り除くきっかけとなるよう願っています。

編 者

## 本書の特長と利用法

1. 本書は「集中2週間完成」シリーズの1冊として、高校1年生や基礎力をつけたい高校2年生を対象に、英文法と英作文を同時に学習することの相乗効果による、文法知識の定着と実際に書く応用力の養成を目指して編集しました。
2. 各学習日の冒頭には、MODEL SENTENCESとしてその日に扱う項目を端的に示す暗唱用例文を示し、その重要点をPOINTSに簡潔に解説しました。まず、例文と解説を読んで文法知識を整理してから問題に取り組んでください。

3. 問題はPOINTSとして取り上げた項目を演習できるように配慮し、空所補充、整序、和文英訳——3形式の問題を中心に収録しました。
4. 解答書き込みスペースを設け、また、自己診断テストとして利用できるよう所要時間と配点をつけました。
5. 別冊解答書は、学習者の立場に立ってできるだけくわしく、ていねいな解説も収め、自学自習しやすくしました。

## CONTENTS

第1日	基本的な英文のつくり (5文型) .....	4
第2日	疑問詞 .....	6
第3日	命令文・感嘆文・付加疑問文 .....	8
第4日	時制 I .....	10
第5日	時制 II .....	12
第6日	助動詞 I .....	14
第7日	助動詞 II .....	16
第8日	不定詞 .....	18
第9日	動名詞 .....	20
第10日	分詞 .....	22
第11日	受動態 .....	24
第12日	関係詞 .....	26
第13日	比較 .....	28
第14日	仮定法 .....	30
APPENDIX 1	前置詞・接続詞 .....	32
APPENDIX 2	英作文によく出題される表現 I .....	34
APPENDIX 3	英作文によく出題される表現 II .....	36

第 1 日

基本的な英文のつくり (5 文型)

30分

/60点

MODEL SENTENCES

1. She swims after school.                      •彼女は放課後に泳ぎます。  
S      V
2. I was a student three years ago.              •私は3年前は学生でした。  
S      V      C
3. We like baseball.                                  •私たちは野球が好きです。  
S      V      O
4. I will ask him a question.                      •私は彼に質問をするつもりです。  
S      V      O<sub>1</sub>      O<sub>2</sub>
5. She named her cat Tamako.                      •彼女は猫をタマコと名づけた。  
S      V      O      C

**POINTS** ■英語にも日本語にも共通していることですが、文は主語 (S) と動詞 (V) を骨格として成り立っています。他に動詞のはたらきを受ける目的語 (O) と主語や目的語の説明をする補語 (C) も文の骨格の一部となり、それ以外の語は修飾語となります。

■すべての英文は次の5つの文型に分けることができます。

1. S + V の形をとるものを第1文型といい、最も単純な形です。
2. S + V + C の形をとるものを第2文型といい、〈S = C〉の関係があります。
3. S + V + O の形をとるものを第3文型といいます。
4. S + V + O<sub>1</sub> + O<sub>2</sub> の形をとるものを第4文型といい、「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を～する」と訳せます。
5. S + V + O + C の形をとるものを第5文型といい、〈O = C〉の関係があります。

**【注意】 \* 3 単現の -(e)s :** 主語が3人称で単数の場合、現在形の文では動詞に -(e)s を付けます。3人称とは、1人称 (I, we), 2人称 (you) 以外のものすべてです。疑問文・否定文の場合は動詞に -(e)s を付けず、助動詞 does を用います。

\* 英語と日本語の文法の大きな違いの1つに、語順の違いがあります。たいていの英文は〈S + V + ……〉ですが、日本語は〈S + …… + V〉となります。

My brother looks happy today. 「私の兄は今日幸せそうに見えます。」  
S      V                                  S                                  V

He gave me a present on my birthday. 「彼は誕生日にプレゼントを私にくれました。」  
S      V                                  S                                  V

**A** 日本語に合うように ( ) 内の語句を並べかえ、英文を完成させなさい。〈3点×5〉

1. 誰でも真の友人が必要だ。  
( needs / a / friend / everyone / good ).
2. 私の弟はメガネをかけると賢そうに見えます。(smart)  
( looks / with / my brother / the glasses / smart ).

3. 彼女は明日カナダから帰ってきます。  
( tomorrow / come / Canada / she / from / back / will ).
4. ユキコは通信販売で彼女の赤いかばんを買った。(from a catalog)  
( her / bought / red / Yukiko / a catalog / bag / from ).
5. 祖母は私にしばしばチョコレートケーキを焼いてくれた。  
( cake / often / me / baked / my / chocolate / a / grandmother ).

**B** 日本語に合うように空所に適切な単語を入れなさい。〈3点×5〉

1. サイトウ先生は私たちに英語を1週間に2回教えてください。  
Mr. Saito \_\_\_\_\_ twice a week.
2. 彼女のクラスメートは彼女のことを「さっちゃん」と呼んでいる。  
Her classmates \_\_\_\_\_ Satchin.
3. 彼の両親が彼をプロ野球選手にした。  
His parents \_\_\_\_\_ a pro baseball player.
4. この夏、私たちの家の近くで大洪水があった。  
\_\_\_\_\_ a big flood near our house this summer.
5. 私はひどいカゼで学校を休んだ。  
I \_\_\_\_\_ school with a bad cold.

**C** 日本語を英語に直しなさい。〈5点×6〉

1. うちの犬は私といっしょに毎朝2キロくらい走る。(kilometer)
2. 母はいつも忙しそうです。
3. 私の父はバスに傘を忘れた。
4. 私たちは新任の数学の先生が神経質だとわかった。(nervous)
5. その男の人は私に数種類の手品を見せてくれた。(several kinds of magic tricks)
6. 私は彼に弟子入りさせてほしいと頼みました。(accept me as a student)